

事務事業評価(事前評価)シート【令和4年度】

主管課(担当名)	社会教育課(社会教育担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	青少年相談室移転改修事業	事業番号	12960

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-10	青少年の健全育成
	施策目標	地域で青少年を育む環境が充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	令和4年度の6月末までに、市内中心地にある移転先の建物の改修等を行い、7月に新たな青少年相談室及びふれあいくらぶ弥生に移転する。
成果	今までの建物よりも広くて明るい所に移転することにより、施設を利用される市民の方が少しでも利用しやすい施設にする。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R2	<div style="position: relative; height: 100px;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; bottom: 0; background: linear-gradient(to top right, transparent 49%, #ccc 49% 51%, #ccc 51% 53%, #fff 53%);"></div> </div>						
	R3							
	R4							
	R5							
	R6							
	R6							
(単位:千円)		R2	R3	R4	R5	R6	総事業費	
事業費と内訳	事業費			3,426			3,426	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源			3,426			3,426
	人員(人工)			0.17			0.17	
職員費(人員×7,513千円)			1,277			1,277		
総事業費			4,703			4,703		
維持管理費	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R3)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	青少年相談室の移転進捗率	0%	-	100%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	建物は市内中心地に位置し出入りする玄関が市道に面しており、1階南側一面がガラス窓になっているため、特に天気の良い日の午前中は採光が入り、施設内部の雰囲気明るくなることから、気軽に利用しやすい場となることが期待される。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 市民からもう少し広く明るい雰囲気の施設への移転を期待されている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 青少年相談室及びふれあいくらぶ弥生ともに市の施設であり、教育委員会が管理・運営している。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 移転先が確保できたことにより、早期の整備・移転が求められている。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 業務の内容から、適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 全ての市民が利用できることから、公平である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 青少年相談室が整備されることにより、利用者が増加することが期待される。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 速やかに事業実施を図り、市民が気軽に利用でき、相談しやすい環境・通級しやすい環境となるよう整備されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 市民が気軽に利用できて、相談しやすい環境となるよう、速やかに事業実施を図り整備して参ります。

作成年月

令和4年7月